

長野地本・貨物長野分会 7月7日 「信州ロジ」新規加入歓迎会! 中南信パワーが七夕に集結!



7月7日、長野県松本市において、6月1日に同時加入した信州ロジステイクスの勝野克彦さん(39歳)、中島大希さん(29歳)の新規加入歓迎会が長野地本貨物長野分会主催により開催され、当該分会及び中南信支部内の各分会より32名がお祝いに結集しました。

「若い仲間の加入は組織にとって何よりのカンフル剤である」と激励。貨物関東協議会・斉藤議長からは「信州の拡大に続き、東京からも拡大に向け頑張る」と、決意を込めた挨拶がされました。その後、長野地本・太田委員長による記念品の

贈呈と、参加者中で最長老の林先輩の乾杯で盛大な懇親会へ移りました。「会」も進み、少し緊張もほぐれたところでそれぞれから「入社して10年、国労の先輩には大切にしてもらった。そうした先輩たちの姿を見て加入しました」(勝野さん)、「労働組合の事は正直分からないが、皆さんと一緒に職場や生活を守る為に頑張ります」(中島さん)と力強い決意を受け、参加者全員からの激励リレートークや、各分会から心のこもった記念品を贈呈し、新しい仲間の加入を喜び合いました。

新年度に入り、【4月】には仙台地本で2名、【5月】には高崎地本1名、千葉地本で1名、【6月】には長野地本で2名、東京地本で1名、【7月】には東京地本で3名と、組織拡大の嬉しい報告が続いています。引き続き、8月に開催する第29回東日本大会に向け全力を挙げましょう。

今号は、①長野地本・貨物長野分会主催「新規加入歓迎会」報告、②仙台地本・組織対策会議、③東京地本「フレッシュユマンセミナー」報告、④仙台地本「エルダー・嘱託社員交流会」報告、⑤新潟地本「組織強化拡大経験交流集会」報告とします。



組合員の購読料は(組合費に含まれます)
港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 松井正義
編集責任者 伊藤隆夫

No. 766 定価 20円
2015年 7月30日

構えず気楽に大胆に
国労加入を
呼びかけよう

QRコードからでも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>

仙台地本 組織対策会議 6月14日開催! 2人に続く仲間を作ろう!



6月14日、仙台地本は組織対策会議を開催し、新入社員対策の中間総括から今後の取り組みについて意思統一しました。

仙台地本内では、JR採用者では初めてとなる女性組合員が4月に誕生し、続いて平成採用者の国労加入が相次いだこともあり、始まる前から活気に溢れていました。

会議ははじめに加入した2人を紹介。郡山電力技士の佐藤拓美さんからは、「平成9年に入社して18年、長い間国労の皆さんとお付き合いさせてもらいました。働いていて思ったのは、イエスマンではいけないということ。国労の良いところは、おかしいところは声を出して言えるところ。そういう皆さんを見てきて、

今回お世話になろうと思いましたが、いつもは先輩に声をかけてもらっていましたが、今回は自分から声をかけて加入することを伝えました」と、信頼できる先輩たちだからこそ国労を自ら選択したことが報告されました。

山形保技セの大友麻実さんからは、「昨年採用されたこと、山形保技セに配属されたこと、他同期と同じ対応をしてくれたことなどをみて、国労の人は頼れると思う、加入を決めました」と、誰にでも分け隔てなく教え、困っていれば何でも相談に乗るなど、他労組からも信

頼される頼もしさを感じて加入を決めたことが報告されました。

2人の紹介後、東日本本部からの情勢報告と青年部報告があり、彦田青年部長からは「8年連続で新入社員が加入。その皆さんは指導職試験や希望していた車掌、運転士にも合格し、指導車掌やアドバイザーに指定されている。社会人採用者は主任にも合格し、国労差別が無くなっていることを証明してくれている。女性社員の加入も増え、グループ会社の仲間も国労加入が相次いでいる。加入した仲間は、誰が先に加入させるかを競い合っている。この情勢を全体に広め、仙台でも2人に続く仲間を作ってほしい」と職場での取り組みを要請しました。

その後、各職場での取り組みの紹介や職場で起きている実態の報告、各支部での確認事項などが報告され、新採対策から引き続き、次の取り組みへ全体で集中していくことを確認しました。

第七回 東京地本 フレッシュマン セミナー

6月28日・6月29日 開催!



東日本本部は、6月28日～29日に第七回フレッシュマンセミナーを開催しました。若手組合員の交流と学習の場で、労働者としての知識や考え方を学び、組織拡大の足掛かりとするため、毎年行っているものです。

主催者代表の鎌田委員長から「各分会で一人一人が信頼関係を作り上げ、組織拡大に結び付けてきた。GS・関連会社を含めて組織拡大に全力を」と挨拶がされました。

続いて労働講座として横浜法律事務所・佐藤弁護士から「労働組合と労働法制について」の講演を受け「労働法制については公・労・使で議論すべき。規制改革と言うが実際には労働者を守っているのが規制」などの話がされました。

東日本本部・伊藤教宣部長からは「国労東日本本部の現状と課題」として、安全問題や会社施策、組織拡大、グループ会社への各取り組みの報告がされ、小澤組織部長からは「青年労働者の繋がりを強化し、働きやすい職場づくりを」と地方本部からの提起がされました。

2日目は東日本本部・吉田特別執行委員から、JR貨物会社の状況について「様々な経営計画を立ててきたがことごとく失敗している。委託先の労働条件改善が必要だが委託先会社に組合が無

い。問題がある事をまず会社に認識させたい」と報告がされました。続いて松川書記長から情勢報告がされ、戦争法案や労働法制などの政治情勢や

駅遠隔操作、乗務員基地再編などJRの現状、安全や合理化、組織拡大に対する国労の取り組みなどが話されました。

全体交流では、青年部の仲間から様々な報告がされ、最後に松川書記長から「様々な報告があったが、『労働とは・賃金とは』何だろうという事を学習し、現場力を付けてほしい。青年部の皆さんも学習し、団結強化をし、組織拡大に繋がってほしい」とまとめがされ、フレッシュマンセミナーは終了しました。

(東京地本発)

仙台地本 エルダー・嘱託社員 交流会

5月24日 開催!



仙台地方本部は5月24日、仙台市内において「エルダー・嘱託社員交流会」を開催しました。

集会には総勢26人(内エルダー組合員16人)が参加し、原子書記長の司会で開会。大沼委員長のあいさつ後、東日本本部・伊藤教宣部長がこの間の労働条件改善に向けた取り組みについて報告(①春闘から夏季闘争②労働条件改善《協約改訂》③組織強化・拡大④住環境制度の改正に伴う説明)。

千葉組織部長からは、仙台支社内エルダー・嘱託組合員の受け入れ先と

なるグループ会社の説明や交渉経過、またグループ会社の再編問題への組合側の申入れなどが説明されました。職場実態交流では、厳しいエルダー職場環境と改善の取組み強化を促す意見が出されました。

最後に原子書記長より「東北交通機械とトランスポーティックの統合について、3月末まで一切説明がなく、実施直前に運車部に説明を求めた経過がある。TSS関係は、5月9日に東北協議会の幹事会を開催し、各会社の社員調査の実施を確認

しました。

また東日本本部が労働使間協議を求め、協約締結をめざす。東日本テクノロジーも検討が必要。三地本の窓口は仙台地本の予定。東北ロジは2月に賃金改善の申し入れをし、東北ロジ組合員の交流会を3月15日に盛岡で開催。そこで出された要員・賃金等諸問題について交渉した。今後は夏季手当の申入れを貨物協と進めたい。各職場とも大変な状況であり、労働条件改善の取り組みを強化する」とまとめがあり、閉会しました。

(仙台地本発)

6月20日 新潟地本 組織強化拡大経験交流集会

加入者が差別の是正を証明
自信につながった交流

6月20日、新潟地本は、組織強化拡大経験交流集会を開催し、組織の1割以上の拡大をめざすことを意思統一しました。

集会には秋田地本から3名が参加。2013年加入の宮崎さんから、加入に至る経過と加入後の思いなどが報告され、社

会人採用の面接時に「国労の息子だと不合格な

の？」という話に、面接官が「そんなことはない」と答えた事が紹介され、最後に「新潟でも拡大を」と要請がされました。

全体討論では「掲示板の活用や情勢認識を一致させ、自信を持って加入を呼びかけたい」(運輸区)。「北陸新幹線開業でときめき鉄道に向向。西日本の社員やプロパーと

どう関わるか模索中。着替え時間など問題がある点からやりたい」(駅)。「若手は若手だけで集まり、他労組もサークル的に。年配の国労組合員も誘われているので、繋がりを続けたい」(工務)。「貨物はまだ会社と他労組との癒着が。職場問題の揭示には若手も興味を持っていい。『入れよ』(貨物)など各職場報

告と秋田からの参加者への質問が出され、拡大にむけ活発な議論が交わされました。

告がされ、戦争法案や労働法制などの政治情勢や

告がされ、戦争法案や労働法制などの政治情勢や



アフラック
最新のがん保険、
新登場。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
NEW/ 生きるためのがん保険 Days

女性特有のがんにも手厚い
NEW/ 生きるためのがん保険 Days

はじめてダック

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036

アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F